



風は海から

令和4年4月28日
令和4年度
横浜市立西富岡小学校
学校だより5月号 No.2

子どものパワー！

横浜市立西富岡小学校
副校長 棟朝 一機

新桜若葉がみずみずしい季節となりました。保護者の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

令和4年度4月に西富岡小学校の副校長になりました棟朝 一機（むねとも かずき）です。3月までは、栄区の桜井小学校に勤務していました。どうぞよろしく願いいたします。

西富岡小の子どもたちの印象ですが、とても子どもらしく、人懐っこい子が多いなと感じています。廊下で出会ったまだよく知らないであろう自分に向かって、「先生、おにごっこ、やりませんか？」と5年生に誘われました。「いいよ」と二つ返事で休み時間に一緒に遊びました。子どもたちと楽しく校庭を走り回り、終わった後、何人かの子どもに「ありがとうございました！」と言われました。こちらも自然と笑顔になり「こちらこそ、ありがとう！また、やろうね！」と答えました。久しぶりに走って、子どもから“パワー”をもらいました。教員冥利に尽きます。

さて、西富岡小の学校教育目標は「自進力！西富 ～実感・共感・主体性～」です。自進力とは、「自分から進んで様々なことに取り組み、よりよい西富岡小学校をつくっていきたい。」という思いを込めて、平成27年度に子どもたちがつくった言葉だそうです。これは様々な場面で子どもたちに生きるのではないのでしょうか。

例えば、「得意ななわとびを自主的に練習する⇒さらに上達し、自信を深める 周りに認められる⇒他のことにもチャレンジしてみる」「苦手な漢字練習に取り組む 目標は50点に設定⇒達成！⇒次は60点を目指す」などです。

挨拶を自分からする、異学年とコミュニケーションをとってみる、何かに思い切ってチャレンジしてみる…。

全て自進力といえます。チャレンジがうまくいかないこともあるでしょう。ただ、その経験も含めて、「自分からやってみる」という経験は子どもにとってとても大切なことだと思います。失敗を恐れず、どんどんチャレンジしてほしいと思います。そして、そのチャレンジを全教職員で支援していきます。

私、個人としては「友だち、先生、地域の方に会ったら、自分から挨拶する」という輪を拡げていきたいと思います。保護者・地域の皆様のご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。